

119
NEW

参照の本質とオブジェクト指向をギュッと2日に濃縮したC++講座

研修概要	引数の値渡し・参照渡しをポインタの解説を聞きながら再学習することで、参照の本質と用途を習得できます。オブジェクト指向は、クラスとインスタンスから解説し、C++独特の実体として扱えるインスタンスのデメリットを通して、なぜ通常インスタンスは参照として扱われるか実感できます。抽象クラスやポリモーフィズムも構文解説からはじめどんな場面に有効なのかを実際のプログラミングで確認できます。また、演算子のオーバーロードやテンプレートを提供する体験より、様々な言語仕様がどのように提供されているかを俯瞰する能力を身に付けます。				
開催予定	2026年 02月16日(月) ~ 02月17日(火)	受講料 (税抜)	¥65,000 (非会員)	¥58,500 (会員)	
日数	2日間	総時間数	12時間	開講時間	9:30 ~ 16:30 / 昼休憩 12:30 ~ 13:30 (60分)
研修会場	福岡市博多区博多駅前2-11-16 第二大西ビル4F 401号室 株式会社福岡ソフトウェアセンター 福岡研修室				
対象者	何らかのプログラミング言語を学習したことがある方				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 引数の型から、関数またはメソッドヘデータの流れ(IN・OUT)が読み取れる。 値型でよい場面と、参照(またはポインタ)とすべき場面が判断できる。 抽象クラスやポリモーフィズムなどオブジェクト指向ならではの構文の用途が腑に落ちている。 				
使用教材	独習C++ 新版、オリジナル教材(講師作成)				
カリキュラムの詳細					
1日目	ポインタの学習と、参照型の引数で出来て値型の引数では出来ないこと	スタック領域の絵を描く演習を通して、参照型の引数でしか呼び元の変数の値を編集できないことを実感する。			
	クラスの前身・構造体と、構造体へのポインタ、構造体型の引数	構造体へのポインタではアロー演算子(->)を使うC/C++独自の部分を紹介する。クラス学習の前準備と引数渡しイメージ復習する。			
	クラスとインスタンスとstaticメンバーの意味	土台の考えクラスとインスタンスに加え、間違った認識でいるとオブジェクト指向を崩しかねないstaticメンバーの意味を習得します			
2日目	復習・newとヒープ領域	スタック領域の絵を描く演習を見返しながら、new演算子でヒープ領域+参照型変数でインスタンスを取り扱うメリットを学習する			
	便利配列vector<型>の使い方	実開発でよく使う多機能なライブラリクラスを紹介する。			
	vector<型>を継承し、継承の習得と、IS-A関係を使ったポリモーフィズムの習得	継承することで親クラスの機能を保有できることを体感する。また親と子クラスは違う型としても同じ型としても扱うことができるポリモーフィズムを、実プログラミングを通して習得する。			
	演算子のオーバーロード、テンプレートの提供を体験する	複数の意味を持つ+や、本来の動作仕様と異なる=の例を知り、その機能を提供する体験を行う。<型>についても同様にテンプレート引数を用いて提供方法を体験する。			
関連講座					

※最低開催人数は4名とさせていただきます。開催可否は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。